

令和4年度

一般会計

後期高齢者医療特別会計

当初予算の概要

一般会計

●当初予算額

2億1,524万9千円（対前年度比 0.55%減）

●主な内容

派遣職員給与等負担金 1億9,471万4千円（前年度比 313万2千円減）
その他、広域連合の組織運営に関する事務経費

後期高齢者医療特別会計

●当初予算額

2,268億4,883万8千円（対前年度比 1.91%増）

●主な内容

- 【保険給付費】 医療機関等に支払う医療費の負担金等
2,256億1,420万1千円
（前年度比 40億6,757万8千円、1.8%増）
- 【保健事業費】 健康診査事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業等
7億3,229万8千円（前年度比 5,420万1千円増）
- 【総務費】 被保険者の資格管理・給付に係る事務経費、電算機器の賃借料等
3億6,670万3千円（前年度比 9,109万4千円増）

●主な増減要因

- ・保険給付費については、団塊の世代の75歳到達による被保険者数の増及び医療の高度化等による一人当たり医療費の増による医療費の増加が見込まれるため。
- ・保健事業費については、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実施圏域の増及び実施市町の増（16市町→18市町）による委託料の増加のため。
（一体的実施事業委託料：予算額2億5,000万円、前年度比4,000万円増）
- ・総務費については、2割負担制度導入に伴う被保険者証等作成業務委託料、郵送料及び標準システム改修共同事業負担金の増等のため。